

# 会 派 代 表 質 問

(通 告 内 容)

令和6年9月

那須塩原市議会定例会議

【質 問 者】

【令和6年9月9日（月）】

- 1 9:25～ 敬清会  
議席番号 18番 大野 恭男議員

受付番号	令和 6 年 8 月 2 3 日
第 1 号	午前 3 時 2 4 分 受付 午後

令和6年8月23日

那須塩原市議会議長 山形 紀弘 様

会派名 敬清会  
議席番号 18番 大野 恭男

会 派 代 表 質 問 通 告 書

令和6年9月那須塩原市議会定例会議における会派代表質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 ( 詳 細 に )
1. 新庁舎建設について	<p>新庁舎建設は、2005年の合併協定項目に基づき、これまで庁内での協議、検討、調査などを進め、さらには有識者、市内各種団体の代表者、公募による者などで構成する庁舎建設市民検討懇談会を立ち上げ、新庁舎に求めるサービス内容、新庁舎を拠点としたまちづくり、新庁舎の整備位置、整備時期など、新庁舎建設に関する様々な検討を重ねてきました。</p> <p>また、市議会においても同時期に新庁舎建設検討特別委員会を立ち上げ、先例事例の調査などを実施しながら、新庁舎に関する検討を重ねてきました。</p> <p>その間、東日本大震災や東京オリンピック・パラリンピックなどの影響により、建築費、労務単価の高騰が伝えられたこと、また、合併特例債の発効可能期間が2024年度まで延長されたことを踏まえ、建設時期を原則、東京オリンピック・パラリンピック以降に延長することが適当であると判断した経緯もあります。</p> <p>しかしながら、第2次那須塩原市総合計画に掲げる県北の中心都市にふさわしい拠点づくり、同計画の将来像である「人がつながり 新しい力が湧きあがるまち 那須塩原」を具現化するためには、新庁舎の建設が核となる事業であり、欠かせない施設であると考えます。これらの状況を踏まえ、新庁舎の建設に向けたより具体的な方向性、整備に関する基本方針などを取りまとめた新庁舎建設基本計画を2019年</p>

に策定し、その後、2021年には新庁舎建設と那須塩原駅周辺のまちづくりを一体的に整備することを示す那須塩原駅周辺まちづくりビジョンを策定し、また、新型コロナウイルス感染症による社会情勢の変化に対応するため、新庁舎の在り方について建築等の専門的な知見を加えた上で、2023年に基本計画の一部改訂がなされ、2024年8月22日の議員全員協議会において、現在想定される新庁舎建設に係る経費が示されました。

現在、海外情勢が緊迫するなどしてエネルギーの供給をはじめとした世界経済の不安定さが増しており、国内においても、物価高騰による経済混乱が懸念されていることは承知しているものの、新庁舎建設に係る経費が大幅に増額され疑義が残ることから、以下のことについて伺います。

- (1) 概算建設工事費の内容について伺います。
- (2) 机やいす等の什器や情報ネットワーク等を含むその他経費の内容について伺います。
- (3) 概算建設工事費及びその他の経費における財源について伺います。
- (4) 経費の削減等これまでどのような検討がされてきたのか伺います。
- (5) 新庁舎整備に係る費用全体について、市民にどのように理解してもらおうのか伺います。